

2023年 9月 1日

## 2023年度「自立援助ホーム支援助成」事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人  
青少年の自立を支える会シオン  
ホーム名 自立援助ホーム みらい  
代表者・役職名 氏名 理事長 水野 洋

## ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

## 1. 申請事業の名称

自立援助ホームみらい施設修繕事業

## 2. 自立援助ホームの概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2010年4月に、自立援助ホームみらいを創設しました。報告者作成現在は、3名の男児が入居しています。

## 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

自立援助ホームみらいの玄関のドア及び職員用入り口のドアが経年劣化により、ドアのずれ、歪み、施錠のしづらさがありました。防犯性に直接影響する問題があり、また、ドアの開閉に強い力を使うことで、怪我のリスクがありました。青少年の安全・安心な施設環境を提供し、気持ちよく生活してもらうために今回の修繕工事を行いたいと考えました。

## 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

自立援助ホームみらいの玄関のドア及び職員用入り口のドアが経年劣化により、ドアのずれ、歪み、施錠のしづらさがありました。防犯性に直接影響する部分である一方、金属製のドアは重く、自身での修繕が難しい面があります。施設に入居している子どもたちに安心して気持ちよく過ごしてもらうために、工事業者の新田工務店に依頼し、2か所のドアの修繕を行いました。

## 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

当法人は法人設立から24年目、自立援助ホームみらいを設立して13年目になります。これまで、同じ建物で青少年の支援を継続してきました。今後も入居する青少年が気持ちよく過ごせる環境を継続して提供するためことを図っています。今回、ドアの修繕を行ったことで、施設の防犯性が向上し、入居している子どもたちが安心して生活することができています。また、以前のドアよりも軽いため、開閉が容易にでき、怪我のリスクが低下したと考えます。

## 6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

今回の事業は、施設の修繕事業のため、修繕をもって事業を終了いたします。しかし、これからも施設を運営していく上で、経年劣化等により、修繕を行う必要のある箇所が出てくるかと思えます。入居している子どもたちが安心して生活していくことのできる安全な環境作りに努めていきたいと思えますので、引き続き、注意を払いながら支援を行ってまいります。

7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

